

特定外来生物になるとどうなるの？

特定外来生物に指定された外来種は飼ったり、植えたり、生きたまま移動させたりできなくなります。

また、すでに野外に出てしまい悪い影響を与えているものは数を減らす取り組みが行われることもあります。

＜特定外来生物で規制される事項＞



出典：環境省ホームページ（<http://www.env.go.jp>）を一部改編



このパンフレットで紹介されている外来種の中で名前の後ろに★がついている生きものは「特定外来生物」に指定されているよ。見つけても飼ったり、持ち帰ったりしたらダメなんだ。

わたしたちにできることはなにがあるの？

みんなが、外来種のことをちゃんと知って、被害を防ぐことが大事だよ。
どんなことができるのか下をみて考えてみよう。



外来種被害予防三原則

1. いれない

大きな問題をおこしてしまうかもしれない外来種は、もともといなかった地域に「入れない」ことが一番大切です。

2. すてない

ペットとして飼っている外来種や栽培している外来種は捨ててはいけません。

また、きちんと管理して逃げないようにして、最後まで責任をもって飼いましょう。

3. ひろげない

すでに野外にいる外来種について、持ち出したりして、ひろげないようにしましょう。

また、野外にいる外来種に餌付けをすることは、外来種の数を増やすことになります。

発行者：春日井市 環境部 環境保全課

〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目4番地

電話：(0568) 85-6279

ホームページ：<http://www.city.kasugai.lg.jp/>

E-mail: hozen@city.kasugai.lg.jp

守りたい春日井の自然

外国からきた生きものたち

（春日井の自然に大きな問題をあたえている外来種についてみんなで考えましょう）



写真：外来種を調べている様子

外来種ってなんだろ？

人の活動によって、もともといなかった国や地域にもちこまれた生きものたちは外来種、もともとその地域にいた生きものたちは在来種と呼ばれています。

わたしたちが食べているお米も外来種であるイネからできています。外来種のなかにはわたしたちが生活していく中で大切なものがたくさんあります。
きちんと管理されている外来種は大きな問題を及ぼしません。が、管理ができていないと大きな問題をおこすことがあります。

このパンフレットを見ながら外来種について、みんなで考えましょう。

外来種がいると何が問題なの？

外来種の中には、生態系、人の生命・身体、農林水産業などへ悪い影響を与えてしまうものもあります。

とくに問題が大きいものは法律で「特定外来生物」として指定されています。

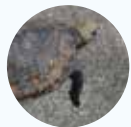
生態系への影響

在来種が食べられたり、生活する環境やエサが奪われたり、雑種ができたりすることがあります。

そうすると、自然のバランスがくずれてしまうことがあります。



写真：環境省提供



ニホンイシガメの気持ち

食べものも、日なたぼっこする場所もなくなっちゃったよ。。。



ハワリナデシコの気持ち

オオキンケイギクに住む場所がとられちゃったよ。。。

写真：波多野茂氏

アカミミガメ（ミドリガメ）

飼われていたものが捨てられたり、逃げ出したりしました。大きくなると、こうらの大きさが30cmほどになることがあります。

ニホンイシガメなどのもともといたカメからエサや日光浴の場所をとってしまい、悪い影響を与えています。

オオキンケイギク★

70cmほどの高さになり、毎年5～7月にオレンジ色の花が咲く、キク科の植物です。観賞用や緑化用に持ちこまれました。繁殖力（ふえる力）が強く、川の斜面や道端などにひろがり、在来種が生活する場所をうばってしまうことが問題となっています。

人の生命・身体への影響

毒を持っていたり、かまれたりすることで、わたしたちに危険がおよぶことがあります。見つけてもさわらずに市へ連絡しましょう。



写真：環境省提供



写真：環境省提供

カミツキガメ★

飼われていたものが捨てられたり、逃げ出したりしました。50cmほどに大きくなり、かまれると大ケガをするおそれがあります。

ヒアリ★

荷物にまぎれて外国からやってきました。2～6mmの大きさの違うアリが巣にいます。刺されると毒により激しく痛み、体質によってはアレルギー反応が起こるおそれがあります。

農林水産業への影響

野菜や果物、魚などを食べたり、畑を踏み荒らしたりすることで、わたしたちの生活に悪い影響をあたえることがあります。



写真：環境省提供



写真：高橋匡司氏

アライグマ★

飼われていたものが捨てられたり、逃げ出したりしました。農作物を食い荒らし、在来種も食べ、家の天井裏に住み着くこともあります。大きさは60cmほどになります。

ヌートリア★

毛皮用に持ち込まれたものが捨てられました。水辺を好み、農作物を食べてしまいます。大きさは60cmほどになります。

外来種はどうしてきたの？

外来種は、いろいろな方法で市内にやってきましたが、大きく2つに分けられます。

1つ目は、ペットや園芸、食べたり、毛皮をとったりするなど、「人がなにかのためにもちこんだもの」です。

2つ目は、荷物やくつの裏などにくっついて「いつのまにかやってきたもの」です。

人がなにかのためにもちこんだもの



写真：環境省提供の写真を加工

ウシガエル★

食べるためにもちこまれた大きなカエルで、18cmほどになります。食いしんぼうで、いろいろな動物をエサにするため、在来種に大きな影響を与えています。

いつのまにかやってきたもの



写真：環境省提供

セアカゴケグモ★

荷物にまぎれて外国からやってきました。メスの体長は1cmほどで、毒を持っており、触るとかまれることがあるので注意が必要です。



写真：環境省提供

アレチウリ★

大豆に種がまぎれてやってきました。成長が早いウリ科のつる性植物で長さ数メートル以上になり、川の斜面などを覆ってしまいます。